

生物多様性古賀戦略（案）に係る意見

1. 古賀市環境政策調整委員会等の意見集約

意見集約対象	【古賀市環境政策調整委員会】市民部長(委員長)、総務部長(副委員長)、保健福祉部長、建設産業部長、教育部長、総務課長、経営企画課長、管財課長、建設課長、農林振興課長、都市計画課長、下水道課長、水道課長、学校教育課長
期間	平成31年1月9日(水)～16日(水)

2. ぐりんぐりん古賀の意見集約

意見集約方法	ワークショップ“みんなで話す「生物多様性古賀戦略」”を開催し、生物多様性古賀戦略（案）の2～4章について意見をいただいた。
日時	平成31年1月15日(火)15時～16時30分
参加人数	11人

3. 生物多様性古賀戦略（案）に係る意見

ページ	素案		生物多様性 専門部会	環境政策調整 委員会等	ぐりんぐりん 古賀	修正意見	対応
	内容						
	全体		●			策定の目的がはっきりしないのではないかと。 初めに、戦略の目的・位置づけ・期間等があった方がわかりやすくないか。	1章のリード文中に戦略の目的・期間等を記載。
表紙	タイトル		●			“計画”ではなく、“戦略”という文言を使うのか。 戦略の名称に、古賀“市”は必要ないのか。	生物多様性基本法で地方自治体の努力義務として生物多様性地域戦略策定が定められており、本戦略の位置づけを明確にする観点から「生物多様性古賀戦略」とする。
2	1. 生きものたちの「つながり」と「にぎわい」		●			“個性”、“暮らす”など、擬人が多い。“個体差がある”、“個体数も増え、生態系が豊かになる”などへ修正してはどうか。	共働の取組を進めていくうえで、小中学校高学年程度でも読みやすく親しみやすい内容としている。また、人間と同じように、すべての生命がかけがえのないものであることから擬人化している。
			●			“昆虫、鳥、ほ乳類、魚、植物・・・”の部分は、“虫”や“けもの”など、分かりやすい表現にしてはどうか。 ※3ページの種の多様性の部分は、学術的な表現の方がいいだろう。	福岡県の啓発冊子を参考に、2・3ページとも、わかりやすい表現へ修正。
			●			“いろんな環境があること”とあるが、“守る”ではないのか。	様々な環境が存在により、多様な生きものが生息・生育することとなることを説明した文章であるため、修正はしない。
			●			イメージ図の下の3行は省略してもよいのではないかと。	生物多様性について説明する文章であるため、削除しない。
3	【コラム】3つの多様性		●			「種の多様性」の部分に掲載しているタナゴは、古賀市で生息が確認されているアブラボテを入れてはどうか。	アブラボテ、ニッポンバラタナゴ、マツカサガイを掲載するよう修正。
			●			アブラボテやニッポンバラタナゴなどのタナゴ類は、マツカサガイなどの二枚貝に産卵するため、互いに関わりあって生きていることがわかる。	
5	【コラム】SDGs		●			文章の最後について、“関わりが浅い”ということは、すでに関わっているということなので、表現を検討してはどうか。	ご意見を参考に修正。
6～11	全体		●			見開きで2ページがつながるようなページは、文章が読みにくい。	他のページと合わせるよう修正。

素案		生物多様性 専門部会	環境政策調整 委員会等	ぐりんぐりん 古賀	修正意見	対応
ページ	内容					
6	2. 古賀を知ろう	●			文章中の“里”、“まち”の色は読みにくい。	ご意見を参考に修正。
			●		“白砂青松”にはルビをつけた方がいいのではないか。	1・2章の読みにくい文言にはルビをつけるよう修正。
			●		“残したい場所”の字が見えない。	ご意見を参考に修正。
6	生きものがにぎわう場所②大根側（下流）		●		“汽水”の用語解説が必要ではないか。	わかりやすい表現へ修正。
7	生きものがにぎわう場所⑦西山	●			スギの人工林ではなく、上部に残存する天然林（アカガシ林）の写真がよい。	写真を差し替え予定。
7	生きものがにぎわう場所⑩古賀ダム周辺	●			水位低い写真だと思うので、満水の写真の方がきれいだろう。	写真を差し替え予定。
8	3. 「生物多様性」に支えられる私たち	●			自然の恵みに感謝し、それを引き継ぐことが大切など、将来像へつながるような文言を入れておいてはどうか。国家戦略等も参考に。	ご意見を参考に修正。
8	暮らしの基礎		●		カワセミが生息する場所を記載してはどうか。	希少種を含めて生きものの生息場所は戦略内では記載しないことで統一している。今後啓発等をしていく中で、紹介させていただく。
8	生きものが生みだす大気と水と土	●			【原文】生きものがうみだす大気と水と土 【修正案】生きものが生みだす大気と水と土	ご意見のとおり修正。
		●			【原文】雨が降ると、森林や田畑は雨を蓄え 【修正案】雨が降ると、森林や田畑は雨水を蓄え	ご意見のとおり修正。
9	文化の多様性を支える	●			文章中の“そのかたち”とは、放生会をさすのか、地域の文化をさすのかわかりにくい。	ご意見を参考に修正。
			●		【原文】私たちに精神的な癒しを与えてくれ、 【修正案】私たちに精神的な癒しや	ご意見のとおり修正。
			●		【原文】それが個性となっています。 【修正案】それが地域の個性となっています。	ご意見のとおり修正。
9	自然に守られる私たちの暮らし		●		【原文】植物の光合成などが、大気や気候を調整してくれるほか、 土壌の流出を防ぎ、 【修正案】植物は光合成によって大気や気候を調整してくれるほか、 地表を覆って土壌の流出を防ぎ、	ご意見のとおり修正。
			●		里山についても触れた方がいいのではないか。水源涵養なら田んぼでもよい。	ご意見を参考に修正。
10	4. 「生物多様性」の豊かさをおびやかすものは？	●			“「生物多様性」を困らせている”という表現はおかしい。“困らせている”という言葉を使うのであれば“生きものを困らせる”、“生物多様性”という言葉を使うのであれば“弱らせている”の方がいい	国家戦略を参考に、タイトルを“「生物多様性」の豊かさをおびやかすものは？”へ修正。
10	開発や乱獲による種の減少・絶滅、生息・生育地の減少		●		家や工場をつくることとのバランスをとるような表現を加えてはどうか。	ご意見を参考に修正。
			●		食物連鎖が崩れると、次々に生き物が住めなくなり、やがて人も・・・というような表現があった方がいいのではないか。	今後啓発等をしていく中で、紹介させていただく。
10	里地里山などの手入れ不足による自然の質の低下	●			シカやイノシシは、バランスが崩れることで増えているのか。シカは暖冬の影響もあると言われている。	ご意見を参考に修正。
11	人間により持ち込まれたものによる生態系のかく乱	●			生きものへの影響を与える要因がいろいろ記載されているが、古賀市はごみ減量などに積極的に取り組んでいるイメージなので、ごみ関係の要因をひとつの項目として独立させてもよいのではないか。	タイトルを“人間により持ち込まれたものによる生態系のかく乱”へ修正。
		●			国家戦略の4つの危機について記載している部分でもある。4つの項目のまま、タイトルを国家戦略に近いものに変更してはどうか。	

素案		生物多様性 専門部会	環境政策調整 委員会等	ぐりんぐりん 古賀	修正意見	対応
ページ	内容					
13	【コラム】古賀の生物多様性保全活動		●		“カスミサンショウウオたちを守る活動”となっているが、“たち”という表現は正しくない。削除するか、“など”としてはどうか。	ご意見を参考に修正。
			●		千鳥ヶ池については、千鳥小学校が総合学習の時間において体験活動等の学びがあると思うので、その点を記載してはどうか。	ご意見を参考に修正。
			●		ツクシオオガヤツリを守る活動：毎年度ドリームステージでの取組を行っているような記載となっている。	
			●		古賀でツクシオオガヤツリを守る必要があるのか。	古賀に生息する希少生物のひとつであり、保全の必要はあると考える。
			●		松原を守る活動について、西小・北中（北中校区もりあげ隊）も松原保全活動をしているため、“校区の子どもたちも一緒になって清掃活動をしています”へ修正してはどうか。	ご意見を参考に修正。
		●		緑を守る活動について、古賀市緑のまちづくりの会は現在、植樹をしていないのではないか。	ご意見を参考に修正。	
14	【コラム】校歌の中の自然	●			古賀西小学校の校歌の“かもめ”、千鳥小学校の“松の音”など、自然や生きものに色がついていない部分がある。	古賀西小・古賀東小の“かもめ”、千鳥小の“松”に色付け。
16	1. 古賀の将来像	●			高校生の描く将来像から、古賀の将来像が決まるまでのプロセスがわかりにくい。	高校生の将来像はワークショップとともに、コラムへ変更。
17	4つのAction			●	【原文】生物多様性を活かす 【修正案】生物多様性から生まれる「資源」を活かすのでは？	Actionの説明には、ご意見いただいた内容を記載しているため、修正しない。
18	【コラム】放課後ワークショップ			●	【原文】高校生の描く古賀の将来 【修正案】高校生が描く古賀の将来	ご意見のとおり修正。
	3章全体	●			古賀市都市計画マスタープラン、古賀市子ども・子育て支援事業計画など、古賀市の他の計画等も再度確認し、生物多様性保全に貢献しそうな取組はぜひ記載をした方がいいだろう。	取組を推進する際には、関連計画との整合性を図っていく。
				●	“推進します”という文言だけを並べても実行性につながるか。	環境報告書等を活用して進捗管理を行う体制づくりを検討する。
				●	推進にあたり、達成年数を掲げることが必要では。	
21	Ⅲ. 古賀の戦略を立てる		●		3章の内容は戦略ではなく、戦略を具現化する戦術となっている。	3章のタイトルを「戦略推進のための取組」、4章のタイトルを「戦略の推進に向けて」へ変更する。
22~23	生物多様性古賀戦略とSDGsの関係	●			この部分に唐突に国際的なものとの関連が出てくるところに違和感がある。	SDGsは、「私たちの世界をよりよくするためのみんなの目標」として、生物多様性と併せて普及啓発の必要があると考えることから、掲載位置については修正せず、ワークショップでのご意見も参考にして、生物多様性古賀戦略とSDGsとの関係の場所を変更する。
		●			古賀市の戦略としては、もっと地域に根差したもののようなイメージの方がいいのではないか。	
		●			3章の最後に資料のように記載し、施策を国際的なSDGsに当てはめるとどうかというイメージにしてはどうか。	
		●			ターゲットまで見ると、あてはまるゴールも出ているため、施策を確認しながら関連性をどこまで記載していくかという整理が必要ではないか。	
				●		
		●			SDGsのゴールのカタカナ語（レジリエント、エンパワーメントなど）については解説が必要。	ご意見を参考に修正。
24	Action 1. 生物多様性を知る	●			最初の方針が環境教育・学習ではしっくりこない。まずは現状把握→知る→伝えるというステップがよいと思う。	ご意見のとおり修正。
24	(3) 調査分析・情報提供	●			具体的な情報提供手段として、Webサイトによる情報発信の強化などについての言及が望まれる。	ご意見を参考に修正。
24	【コラム】いきもの見つけ隊	●			アサギマダラの幼虫のキャプションは、「いきもの見つけ隊」が見つけているので、“昆虫教室で見つけた”の方がいいのではないか。	ご意見のとおり修正。

素案		生物多様性 専門部会	環境政策調整 委員会等	ぐりんぐりん 古賀	修正意見	対応
ページ	内容					
25	(2) 自然や生きものとのふれあう場の充実			●	場づくり”と”充実”の使い分けは？	場づくり：現在あるものを活用していく、 充実：現在あるもの充実させ、活用していく
25	生きものとのふれあう公園の充実		●		多様な主体と連携して環境教育は誰が行うのか。	公園を活用した環境教育については、環境課が実施して いく予定。
25	生きものとのふれあう水辺の充実			●	【原文】生きものとのふれあう水辺の充実 【修正案】“充実”ではなく、“整備”の状況では？	現在あるもの充実させ、活用していくという意味で、 “充実”という表現をしているため、修正しない。
25	【コラム】ビオトープ			●	ビオトープは“復元”に限らない。	ご意見を参考に修正。
				●	ビオトープの生きものの写真があってもいい。	ご意見を参考に修正。
26	生物多様性に関する講座や体験学習の推進	●			大人と子どもを分けて、子どもに対しては、例えば、子どもたちへの豊かな自然の原体験の推進（篠山市戦略）、子どもたちの自らの遊びや体験のなかでの生命の学びの促進（いすみ市戦略）のような内容を取組項目として挙げられないだろうか。	ご意見を参考に修正。
26	生物多様性に関する普及啓発	●			26 ページは“情報提供”となっているが、表現が違ってよいか。	タイトルの“情報発信”を削除し、“生物多様性に関する普及啓発”へ修正。
26	【市民アンケート】自然観察会			●	凡例が見にくい。大きく修正する。	ご意見のとおり修正。
27	Action2. 生物多様性を守る	●			希少種・重要地域を保全していくという2つの取組からなる方針を「Action2. 生物多様性を守る」の1つ目の方針とし、2つめが生態系の保全・再生というように、5つの方針で構成されるActionとしてはどうか。	1つ目の方針を「(1) 希少種・重要地域の保護・保全」として5つの方針で構成されるActionへ修正し、「(1) 希少種・重要地域の保護・保全」の取組に、「重要地域の保護・保全」を追加。
			●		(1) 重要地域と希少生物の保護・保全、(2) 山から海までのつながりを意識した生態系の保全・再生について、今後企業誘致のため開発が予定されている今在家、新原高木地区への影響が懸念される。	人と生きものの共存、共栄を推進していく。
27	重要地域の保護・保全	●			重要地域についての取組は、千鳥ヶ池などの名称を出した取組とした方がいい。	ご意見を参考に修正。
				●	重要地域を具体的にあげてはどうか。	
27	希少生物の保護・保全	●			方針に格上げしたうえで、具体的な取組として、例えば、ツクシオオガヤツリ、ハマボウ、アブラボテなどの具体的な種名を入れてもよいのではないかと。また、生物多様性保全上の重要地域として、例えば、千鳥ヶ池、花鶴が浜などを挙げるとよい。	ご意見を参考に修正。
27	(2) 山から海までのつながりを意識した生態系の保全・再生	●			この方針の最後に、生態系ネットワーク（水と緑のネットワーク、野生生物の移動空間）に関する内容について具体的な取組として挙げる。	今後の取組を推進していく際の参考とさせていただく。
27	農地の保全・再生	●			環境保全型農業についての言及は必須。生物多様性に配慮した（環境配慮型）農業生産基盤の整備についても記すことが望まれる。	ご意見を参考に修正。
27	ため池の保全・再生		●		災害防止とあるが、生物多様性からすると災害防止は関係ないのではないかと。	ご意見を参考に修正。
27	河川の保全・再生	●			保全だけではなく、良好な自然環境の「創出」についても言及するとよい。「多自然川づくり」の語を使用するのも一案。	市内河川のほとんどが県営河川であるため、市単独の取組としては修正しない。
27	海岸の保全・再生	●			海岸クロマツ林も森林なので、上述の森林の項目との関係を整理した方がいい。都市計画マスタープランのように、「白砂青松」の自然景観を重視して海岸とクロマツ林を一体化してとらえる（玄海国定公園第1種特別地域）のも一案。	「松林の保全・再生」と「海の保全・再生」を「海岸の保全・再生」として修正。
				●	海岸だけでなく、“松林”の文言も入れては。	取組内容に「松林」に記載があるため、タイトルは修正しない。
				●	【原文】多様な価値を持つ海岸を、多様な主体と連携した清掃活動を行っています。（※日本語としておかしい。）	ご意見を参考に修正。

素案		生物多様性 専門部会	環境政策調整 委員会等	ぐりんぐりん 古賀	修正意見	対応	
ページ	内容						
28	(3) 外来種への対策と野生鳥獣による被害の防止			●	“対策”と”対策の検討“の使い分けは？	対策：実際に行う対策 対策の検討：どんな対策を行うかの検討	
28	特定外来生物への対策	●			タイトルに特定外来生物”という記載をせずに、“生態系や人間に被害を及ぼす侵略的外来種”、侵略的外来種と特定外来種を併記するなど、修正してはどうか。	「侵略的外来種・特定外来生物への対策」へ修正。	
29	【コラム】外来種	●			場所には触れず、タイリクバラタバゴの放流により、在来種が危機的状況に陥っていることを紹介するようなコラムにしてもいいのではないか。	古賀の外来種の紹介については、タイリクバラタバゴ、アカミミガメ、ウチワゼニグサとし、どんな影響があるかを追加。ペットショップで売られているような観賞用の動植物を野外に放さないなど、外来種にも注意をもらうようなコラムとなるよう修正。	
		●			コラムの中では、最終的に特定外来生物への対策が必要なイメージだが、特定外来種ではないタイリクバラタバゴなども特に印象づけておく必要があるような気がする。		
		●			特定外来種でない外来種にも注意をしてもらうようなコラムにしてはどうか。		
		●			ペットショップで売られているような観賞用の動植物でも、自然の中に放すことで生態系などに影響を与えることがあるという内容を記載した方がいいだろう。		
		●			生物に詳しくない方は、外来種がいることでどんな影響や被害があるのかはわからない。		
				●			植物の外来種は？
				●			“外来種被害予防三原則”を、わかりやすい字体に変更する。
30	ごみの不法投棄、ポイ捨ての防止			●	【原文】ごみの不法投棄、ポイ捨ての防止 【修正案】ごみの不法投棄、ポイ捨てをしづらいしくみづくり	防止の取組を行う予定であるため、修正しない。	
				●	マイクロプラスチックを追加してほしい。	マイクロプラスチックについては、P11に記載済み	
30	環境にやさしい事業者・事業活動の促進		●		CSR 活動を進めることを、市の取組として記載してよいのか。また、社会教育としてとはどのようなことか。	ご意見を参考に修正。	
31	【コラム】エコラベル			●	ラベルを大きく。	ご意見のとおり修正。	
32	(5) 地域資産の継承	●			自然や生物も地域資産であるが、具体的な取組には文化と食に限定しているため、方針も限定した方がよい。(「自然と調和する伝統的な文化や知恵の継承」など) なお、自然環境や景観の分野では、地域資源の語を用いるのが一般的。上位計画である総合振興計画においても、地域資源の語を用いている。	タイトルを「自然と調和する伝統的な文化や知恵の継承」へ変更。 「生物多様性に支えられる食の継承」については、あまおうを削除。コラムと伝統的なものと特産に分けるよう修正。	
				●	地域資産はたくさんあるので領域を「文化」「食」に限定して表記しなくてもいいですか？		
		●			伝統的なものと特産品の整理をした方がよい。例えば、前者は古くから継承されてきた伝統料理に限定し、後者は山見阪ネーブルを含めた特産品についての内容とする。		
		●			あまおうは、促成栽培が環境にとってやさしいのかという部分はあるが、みつばちがいないと実がならないという観点からすると、生物のつながりという部分では重要という見方もできる。		
		●			“まんま実～や”は、35ページの「生物多様性の恵みを活かした特産品づくり」に記載される方がいいだろう。		
32	生物多様性に支えられる文化の継承		●		【原文】長い歴史を得て今に残る自然景観などの文化財 【修正案】長い歴史を得て今に残る自然・歴史的景観などの文化財	ご意見のとおり修正。	
32	生物多様性に支えられる食の継承			●	この取組の中では“だぶ”で、コラムでは“らぶ”となっている。	ご意見を参考に修正。	

素案		生物多様性 専門部会	環境政策調整 委員会等	ぐりんぐりん 古賀	修正意見	対応
ページ	内容					
32~33	【コラム】地域資産			●	それぞれのタイトルをわかりやすい字体に変更する。	ご意見を参考に修正。
				●	谷山盆網引き：生物多様性との関連がわかる表現を入れたらよいと思います。(鶏すきも)	ご意見を参考に修正。
			●		夏越まつり：ルビをつけた方がいいのではないかな。	ご意見のとおり修正。
				●	山見坂ネーブルは特産品？地域の食？	山見坂ネーブルは特産品とし、場所を移動。 ※P32の「生物多様性に支えられる食の継承」の内容も修正。
				●	ムーミンの木を追加。	ご意見を参考に修正。
				●	谷山の船原古墳を追加。	生物多様性に関わりのある資産を紹介していること、ページ数等の関係から追加しない。
34	地域木材の活用	●			“公共建築物の木造化及び内装の木質化や公共土木工事における資材利用の推進に努めていきます。”とあるが、“資材”ではなく、“木材”にしてはどうか。	ご意見のとおり修正。
				●	“地域木材”までは難しそう。“木材”ではだめか。	ご意見を参考に修正。
34	自然エネルギーの普及			●	太陽光発電は自然を壊していることが多く、推奨できない。	ご意見を参考に修正。
34	(2) 魅力ある地域づくりへの活用	●			「歩いてん道の普及」が取組の中の初めになっているが、方針の中では観光の振興や特産品づくりの方が「魅力ある地域づくりへの活用」という方針に近いのではないかな。	「歩いてん道の普及」を3つめの取組となるよう修正。
34	歩いてん道の普及		●		“歩いてん道の普及・活用”の方がいいのではないかな。	ご意見のとおり修正。
35	【コラム】特産品			●	スイーツコーン：キャラクター不要	写真を差し替え予定。
				●	らぶ・ごはんの具：写真を分ける。	写真を差し替え予定。
				●	スイーツコーン・あまおうが購入できる時期・場所を追記する。	ご意見を参考に修正。
				●	まんま実～や：お店の名前は出してもいいの？	ご意見を参考に修正。
36	【コラム】歩いてん道	●			地図と写真がリンクするように数字などを入れてはどうか。	歩いてん道マップのとおり番号を追記。
		●			地域資産や自然に気付けるというところを強調するようなコラムにした方がいいのではないかな。	ご意見を参考に修正。
				●	歩いてん道と生物多様性とのつながりが？ ⇒レクリエーションも大事では。	自然を感じ、触れあうことができる場所をとして紹介している。
37	全体			●	このページに写真や図があるといい。例えば、団体・コミュニティ・事業者・市民などの交わり図。	ご意見を参考に修正。
37	Action4. 環を広げる			●	古賀市版環境カウンセラーとの関係を追加。	古賀市版環境カウンセラーについては、今後制度設計としていく予定であるため、現段階では修正しない。
				●	市民と農林業者の連携方法のしくみ	「(2) 連携の仕組みづくり」の事業者にも農林業者も含まれる。多様な主体が連携。協力できる取組を推進していく。
38	【コラム】ぐりんぐりんフェスタ			●	写真にキャプションをつける。	ご意見を参考に修正。
				●	市民の方が展示を見学している様子、雑紙ロボットなど楽しそうな写真。	写真を差し替え予定。
				●	フェスタが開催されているよというPR。	このコラム自体がPRになっていると考えているため、修正しない。

素案		生物多様性 専門部会	環境政策調整 委員会等	ぐりんぐりん 古賀	修正意見	対応
ページ	内容					
40	1. それぞれの役割と連携			●	近隣自治体との連携をもっと強調する。	行政の欄に、他の自治体との連携について記載しているため、修正しない。
				●	他地域と比較してぐりんぐりん古賀があることは古賀の強みだと思います。その継続をどう図るか。連携の仕組みに入ったら。(希望)	ご意見を参考に修正。
				●	それぞれの役割はそれぞれに書いてありますが、連携は行政の最後にあるだけ。具体策は示されていないように見えます。	Action 4において掲げている「環を拓げる」取組において、連携を強化していくことを考えており、修正しない。
41	戦略の位置づけ	●			「戦略の位置づけ」というタイトルにはなっているが、上位・関係計画との連携・調整を図りながら、様々な主体と取組を進めることが記載されている。「戦略の進め方」などにタイトルを修正にはどうか。	「戦略の位置づけ」と「戦略の進行管理」を、「戦略の進行管理」の1つの項目として修正。
41	戦略の進行管理	●			図の中の矢印が見にくい。	ご意見を参考に修正。

★意見のみ

素案		生物多様性 専門部会	環境政策調整 委員会等	ぐりんぐりん 古賀	意見
ページ	内容				
15	Ⅱ. 古賀の将来を描く			●	この取組（資料作成）は、「市民との合意形成」に大いに役立つと思う。
16	1. 古賀の将来像			●	古賀市は開発が遅れているので早く保全地区を決めてほしい。
17	2. 戦略の期間と対象区域			●	15年後はミイラになっている。生きてるうちに何か一つでも残したいね。
17	4つのAction			●	この考えを市民へ共有化できると good!
				●	4つのActionはいいですね。
				●	良いです。環を広げていく思いが伝わってくる。
18	【コラム】放課後ワークショップ			●	各々のActionをさらに具現化していくと良い。
				●	高校生の参加・活動は非常に良いことです。学校での部活動を強化してほしい。
				●	高校生もこのような取組をやっていることは素晴らしい。将来が楽しみ。
				●	小中学生の環境活動への参加を盛んにしたい。
				●	生物と人とのつながりを大事に考えている。
				●	高校生の意見すばらしい。
				●	高校生に意見を聞いたことはイイネ！玄界にも。
21	Ⅲ. 古賀の戦略を立てる			●	意見を持つほど考える機会（ワークショップ）があつて良かったと思う
				●	ひとりひとりがこんなふうを考えるようになればいいな
22~23	生物多様性古賀戦略とSDGsの関係			●	いろいろな立場、考え方の人がいるが、まずは行動すること。やらなければわからない。
				●	SDGsを使ってビジュアル的にまとめたことはとてもいい！
24	(1) 環境教育・学習の推進			●	関連づけはいい！
				●	つながりを知らせる例には、稲が有効かも。文化、食、環境とも深いつながりがあり。(つながりを可視化することがわかりやすい)
24	(3) 調査分析・情報提供			●	古賀には田んぼがたくさんあり、田んぼには多くの生きものが生息しているので、田んぼの写真？または生態系？
				●	良いです。
26	古賀の生きもの紹介			●	すでに実施している団体があつたりするが、その情報とか集めてあるかな？（東コミとか）
				●	「生きもの展示」は？ 紹介の仕方はいろいろある。

素案		生物多様性 専門部会	環境政策調整 委員会等	ぐりんぐりん 古賀	意見
ページ	内容				
26	生物多様性に関する情報発信・普及啓発			●	種の減少スピードなども知らせては。
25	森林レクリエーションの場づくり			●	せひやってほしいですネ！！
25	生きものとふれあう水辺の充実			●	古賀市では手つかずの部分。ぜひ整備に向けて動いてほしい。
25	【コラム】ビオトープ			●	古賀市のビオトープは2ヶ所のみです。追加設置してほしい。
27	全体			●	ページは詰まってる感じがする。圧迫感がある。
27	(2) 山から海までのつながりを意識した生態系の保全・再生			●	事業者に農林業者は含まれるか。明記が必要かもです。
				●	里地里山の元々の生態系を生かし、人工林を見直し、災害対策が必要ではないか。
				●	森林の再生は難しいのでは。
27	農地の保全・再生			●	農地の保全 これはいい！
				●	農地の保全と跡継ぎの問題
27	河川の保全・再生			●	河川の水質の保全には雑排水の流入を防ぐことも重要。また、水量の確保も。
28	(3) 外来種への対策と野生鳥獣による被害の防止			●	最近ではイノシシやシカが多くなって自然破壊をしている。どうしようか！！
				●	池の掃除をして外来種退治しよう。
29	【コラム】外来種			●	外来種は継続して排除しないと増えます。
				●	ミドリガメ⇒ミシシippアカミミガメ この販売をやめるべき。(規制を！！)
				●	なぜ外来種にはまるのか。もっと日本の生物を生かしていこう。(害を及ぼさない)
30	ごみの不法投棄、ポイ捨ての防止			●	不法投棄の影響を市民が知るべき。
30	【コラム】MY 行動宣言			●	QR コードがついているところが良い。
				●	MY 行動って何かを市民にPRしよう。
				●	MY 行動宣言の古賀市版を作ったらどうでしょうか。
31	【コラム】エコラベル			●	ラベルの表示 OK
31	【コラム】事業者も参加する環境保全活動			●	この活動を多く市民へ呼びかけよう。(意識 UP を)
				●	20 の事業所 OK
				●	「アダプト」の意味を知らせることも必要。
				●	事業所(多くの)参加まだ足りないと思う。
				●	河川清掃活動が低調になりつつあります。十分な広報と多数の市民参加が必要です。
32	(5) 地域資産の継承			●	良いと思います。地域資産は残してもらいたい。
				●	古賀市はたくさんの古い宝があります。他紙からの来市者も多く、駅等に案内板を増設しては。
32~33	【コラム】地域資産			●	古賀の美味しいものが食べれる店があればと思います。
34	Action3. 生物多様性を活かす			●	インターチェンジの利用活用
34	(1) 自然を活かした暮らしの推進			●	持続可能な消費行動の取組をもつと一人一人が考えられるように？
34	地域木材の活用			●	いい視点である。なので、実行できる具体策を考えて。
34	(2) 魅力ある地域づくりへの活用			●	ハマボウまつりの写真を挿入？

素案		生物多様性 専門部会	環境政策調整 委員会等	ぐりんぐりん 古賀	意見
ページ	内容				
35	【コラム】特産品			●	特産品の評判は非常に良い。
				●	山見坂ネーブルは？おかひじきはなくなった？！
				●	特産品の数を計画的に伸ばす施策が必要です。
				●	古賀で生産されている産物のパンフレットを作ろう。
				●	増田桐箱店の桐は古賀産？
36	【コラム】歩いてん道			●	歩いてん道は評判が良いので、補修を必ずやってほしい。
				●	山・里・川・海を意識したキャプション。例えば、筵内では「農」の文字。
				●	歩いてん道はかなり荒れている。整備・メンテナンスをすべき。(歩けね～道)
				●	千鳥ヶ池に噴水を設置しよう。水質浄化のためにも。集客にもなる。(池を知ってもらおう)
37	Action4. 環を広げる			●	高校生だけでなく、中学生あたりまで拡げては。
				●	環を広げるためには広報(知らせる)を増やしてほしい。
				●	環を広げる取組にみんなの協力が大である。
				●	環を広げるには多くの市民に知らせてもらわなくてはいけない。このワークもぐりんぐりに限定したことに疑問。
38	【コラム】ぐりんぐりんフェスタ			●	フェスタの開催も上手になってきました。市民の来場者数を増やしたい。
40	1. それぞれの役割と連携			●	ぐりんぐりん古賀の会員を増やしたい。
				●	温暖化防止の適応等を行政で検討してほしい。
				●	事業者との連携をうまく進めたい。(大根川クリーンネットはうまくいってる)